

令和4年度 公共施設マネジメントの進捗状況について

日光市財務部資産経営課

公共施設マネジメント係



令和4年度の取り組み状況

◎地域の実情に応じた、機能重視による施設の再編

- 📝 銅やまなみ館の廃止
- 📝 文化会館等あり方検討の取り組み
- 📝 小来川地区内公共施設再編検討の取り組み

◎民間活力の活用

- 📝 民間提案制度の取り組み
- 📝 トライアルサウンディング、指定管理者制度

◎今後の展開



地域の実情に応じた、 機能重視による施設の再編



施設の再編

足尾保健・高齢者生活福祉センター（銅やまなみ館）

施設の老朽化、改修費用、利用者数の減少、施設機能の移転の可否を踏まえ、足尾庁舎内へ機能に移転。

※施設跡地の利活用の方向性については、今後検討



集約



機能集約による施設廃止

⇒

機能集約による利便性の向上

機能集約によるコストの削減

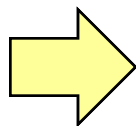
施設の再編

いずれも老朽化が進む1000人規模のホール機能を有した3つの文化会館施設

❖利用状況の検討とホール機能の集約化による多額の維持管理コストの削減及び老朽化対策が必要

➤ 耐震基準を満たしていない施設は、市民の安全を確保するため使用を中止

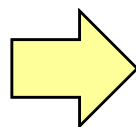
①日光総合会館(昭和47年築)



令和3年3月【廃止】

- ・駐車場部分については、令和3年4月から業務委託にて運営。
- ・令和4年度は、**解体に向け設計業務委託を実施。**

②藤原総合文化会館(昭和48年築)



令和2年4月【休止】

- ・観光客等向けに鬼怒川温泉駅前のあり方についてのアンケートを実施。
- ・引き続き、地元と跡地の利活用について協議・検討。

施設の再編

③今市文化会館(昭和51年築)



運営継続中

- ・方針が定まるまで暫定的に使用する。
- ・大規模な修繕が必要となった場合は施設の休止又は廃止を検討。
- ・令和4年度は、空調機器の修繕設計委託を実施。

今後40年間使用を想定した場合

改修コスト > 建替コスト

応急的な修繕を行っても、抜本的な解決にはならない。



文化会館等のあり方について、検討委員会を設置

施設の再編

今市文化会館、日光総合会館、藤原総合文化会館

●文化会館等あり方検討の取り組み状況

今市文化会館、日光総合会館、藤原総合文化会館の3施設を統合する方向性で決定。



あり方検討市民委員会や議会の意見を踏まえながら、再編検討。

(類似施設との差別化、利用者の範囲、整備規模、付帯施設、建設費用、整備地など検討課題は多数あり)

※特に整備地や整備規模の選定にあたっては、複合化する付帯施設の内容が大きく影響。



どのような付帯施設が相応しいか基礎的な調査業務を委託

施設の再編

文化会館等あり方検討の軌跡

(令和5年2月末現在)

期日	内容	概要
令和4年 7月	第1回市民委員会	課題の整理
令和4年 8月	公共施設等あり方検討調査特別委員会	報告
令和4年 9月	第2回市民委員会	建設の是非
令和4年10月	公共施設等あり方検討調査特別委員会	報告
令和4年11月	新文化会館施設整備基礎調査	調査開始
令和4年11月	議員全員協議会への報告	報告
令和4年11月	第3回市民委員会	今後の進め方について
令和4年12月	公共施設等あり方検討調査特別委員会、 議員全員協議会	報告
令和5年 2月	第4回市民委員会	調査結果の報告

施設の再編

小来川地区公共施設の適正化

地区センター



林業研修センター



ふれあいの郷



診療所



デイサービスセンター



小中学校



保育園



令和5年度に小来川地区活性化基本計画(構想)の策定

※小来川地区の活性化に資する施策を実現するために、提言書を踏まえながら、学校への施設集約の対象選別、概算費用の算出、学校外施設への統合、新たな施設建設の可能性などを総合的に判断していく。

民間活力の活用



民間活力の活用

◆公共施設等民間提案制度

趣旨

民間事業者からの視点で公共サービス等を見直し、公共施設等において施設整備や運営面、利活用面で更なる向上が図られる内容に関しての提案を求め、事業化する制度

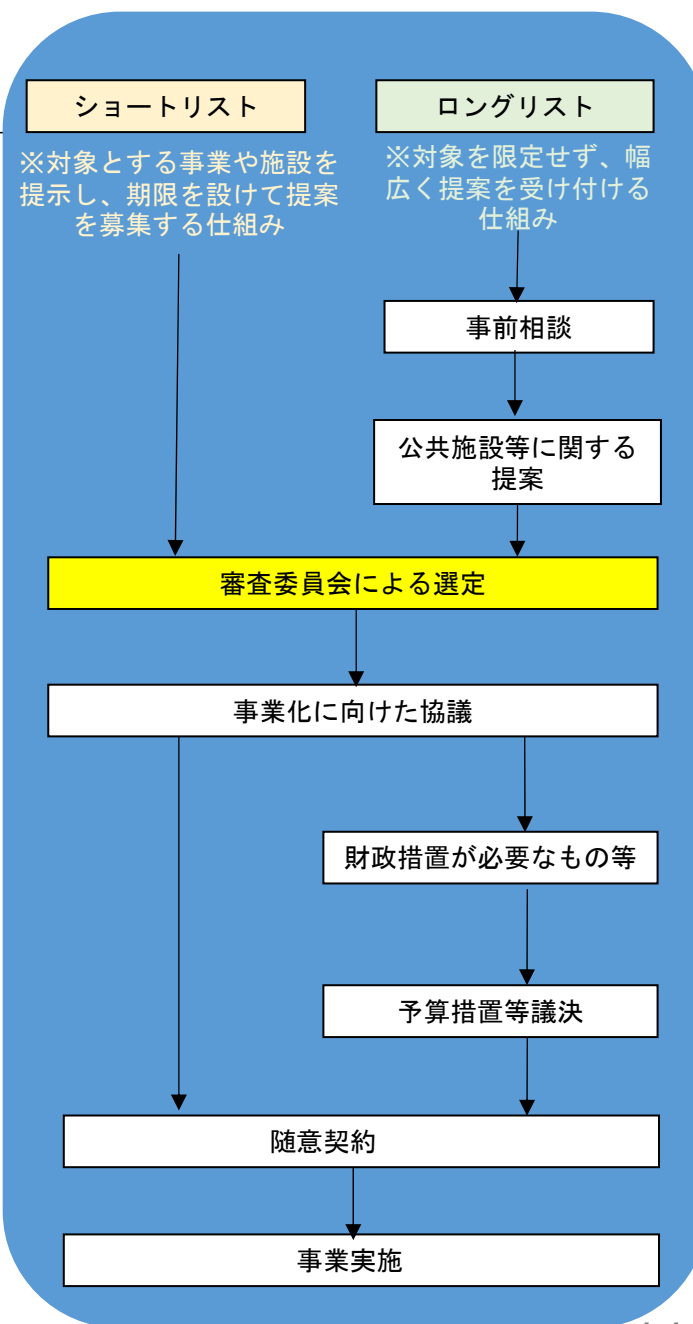
提案者

提案内容を実行できる意志と能力(運営力、財産力等)を有する民間企業、NPO法人等の法人、または各種団体等

提案要件

- 公共サービスの提供・運営方法等に関することで、
- ・大幅にサービスの向上が図られるもの
 - ・公共施設マネジメントに貢献する施策
 - ・本市が保有する公共施設等の利活用に関するもの
 - ・市の新たな財政支出又は維持経費の増加を伴わないもの等

公共施設マネジメント、市民サービスの向上、
財政コストの軽減等につながる



民間活力の活用 ～民間提案制度～

◆令和4年度の取り組み

ショートリスト



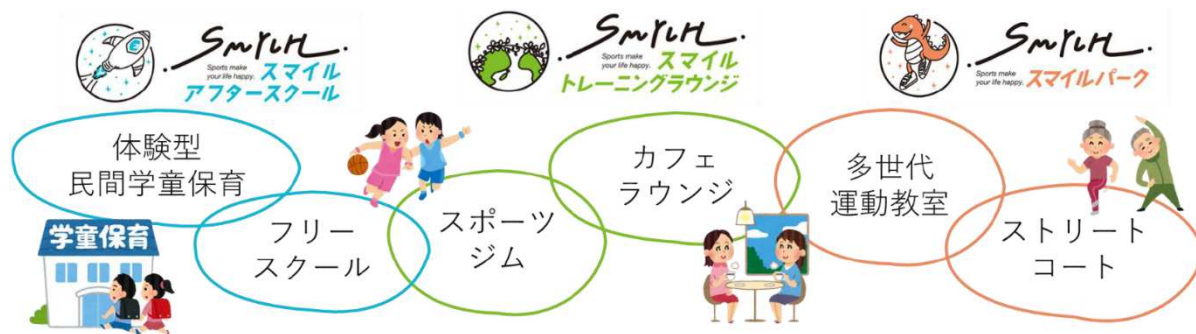
- ・旧小百小学校のみ応募あり。
- ・3者から提案を受けたが、採択された事業はなかった。

方向性を再検討

民間活力の活用 ～民間提案制度～

◆過去に採択された施設～旧野口小学校～

ショートリスト



令和4年夏休みプレオープン
体験型学童保育を実施
市内外小中学生30人参加

令和5年4月オープン予定

民間活力の活用 ～民間提案制度～

◆過去に採択された施設～照明のLED化～

ショートリスト

道路・公園



- ・道路、公園照明全灯LED化
- ・クラウドシステムでの管理台帳の構築
- ・現在の電気料・維持管理費の範囲内で行うESCO事業で実施

令和4年度 工事完了
令和5年度 維持管理開始

社会体育施設



- ・体育施設の全灯LED化
- ・市の支出を伴うESCO事業で実施

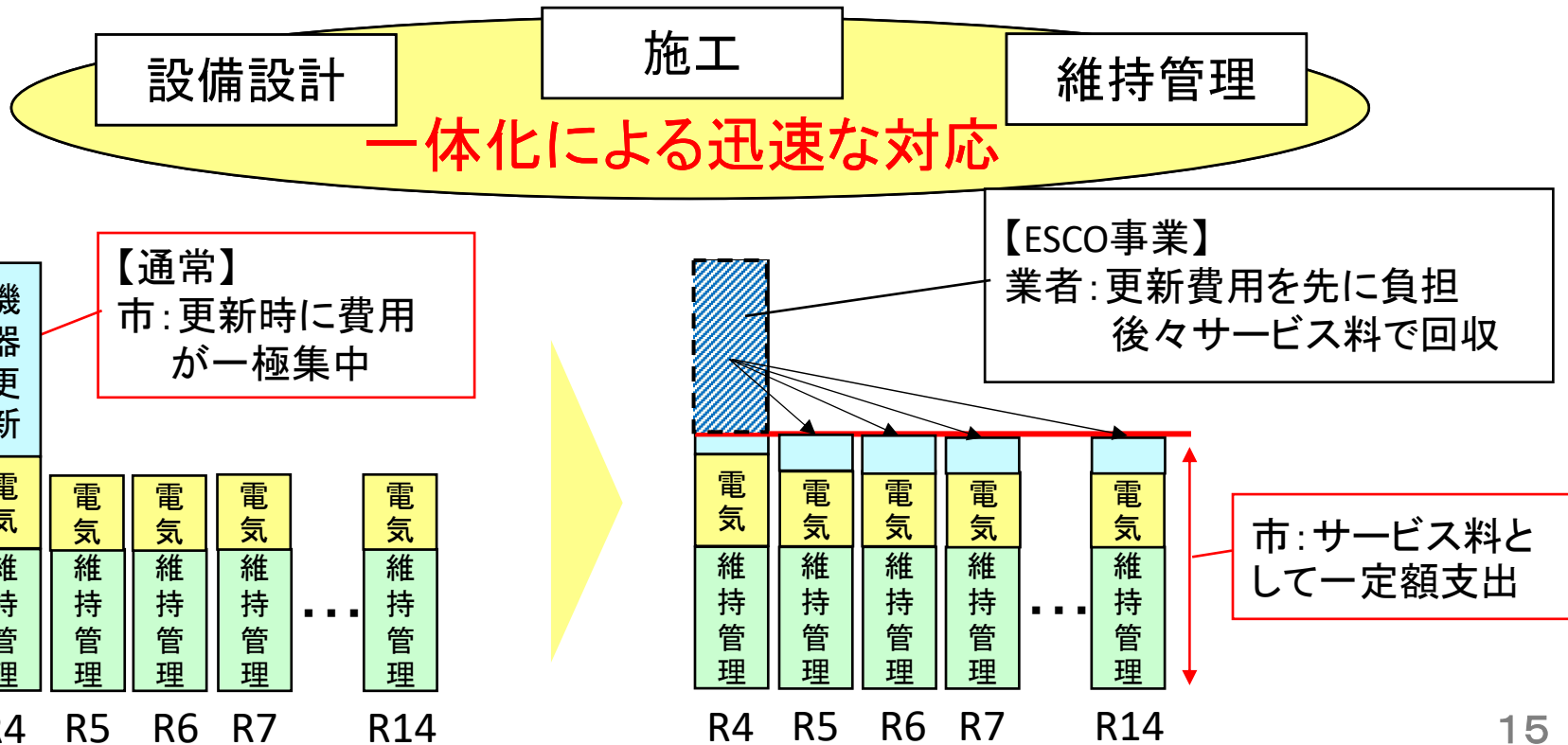
令和4年度 契約締結
令和5年度 工事開始

民間活力の活用 ～民間提案制度～

◆過去に採択された施設～照明のLED化～ ショートリスト

👉 ESCO事業とは

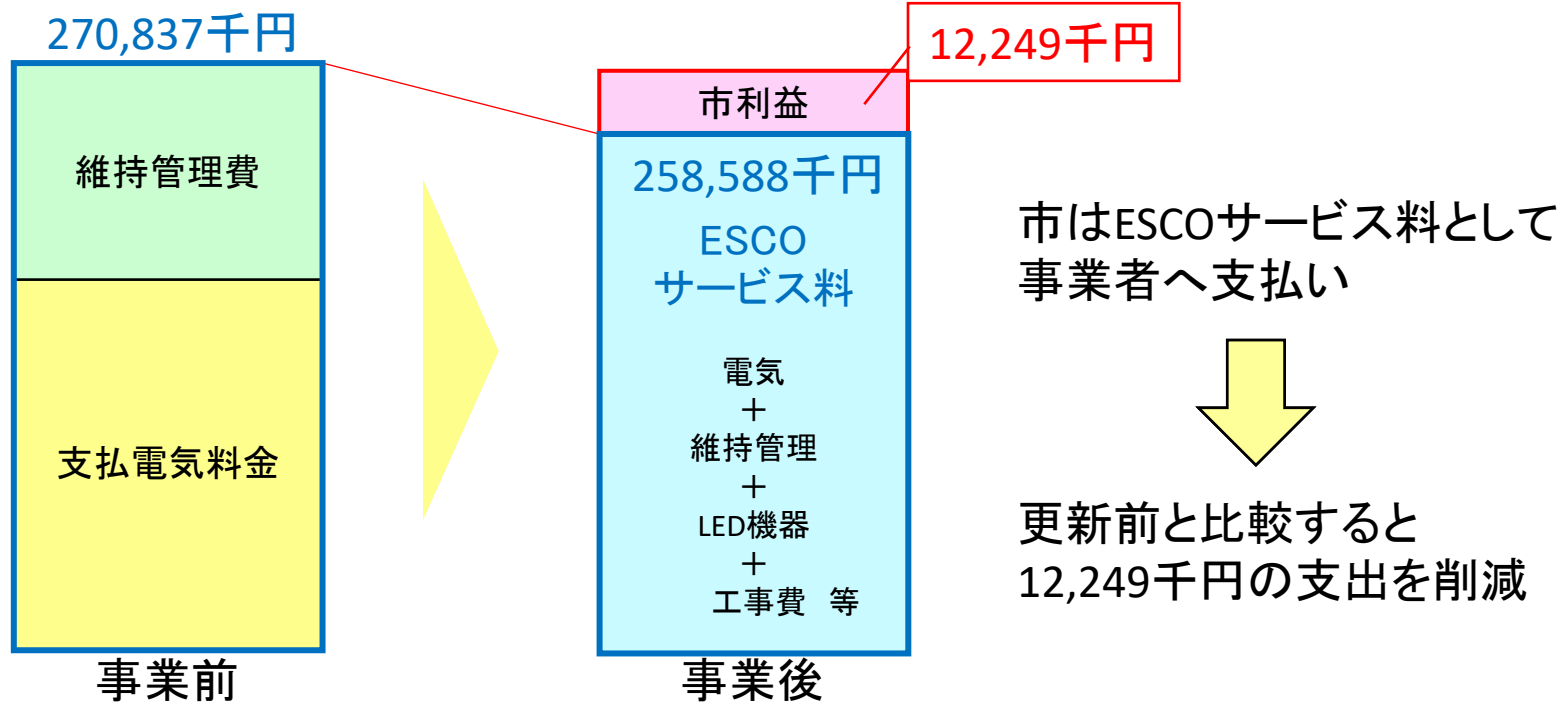
民間の資金とノウハウを活用し、設備等の省エネルギー化改修を行い、室内環境の向上、環境負荷の低減、財政負担の平準化、並びに光熱水費の効果的な削減を図るもの



民間活力の活用 ～民間提案制度～

◆過去に採択された施設～照明のLED化～ ショートリスト

 道路・公園 ～事業により得られる利益(10年)～



- 【効果】**
- ①事業費平準化及び削減
 - ②短期間での事業完了
 - ③施設環境の向上
 - ④CO2排出量の削減

民間活力の活用 ～民間提案制度～

◆過去に採択された施設～高畑運動広場～

ロングリスト



グランピング施設として
令和5年2月10日オープン

【市のメリット】

- 維持管理費の負担減少
- 土地賃貸借料を収受
- 地元雇用の創出
- 地域の活性化に寄与
- 新たなサービスの提供

民間活力の活用

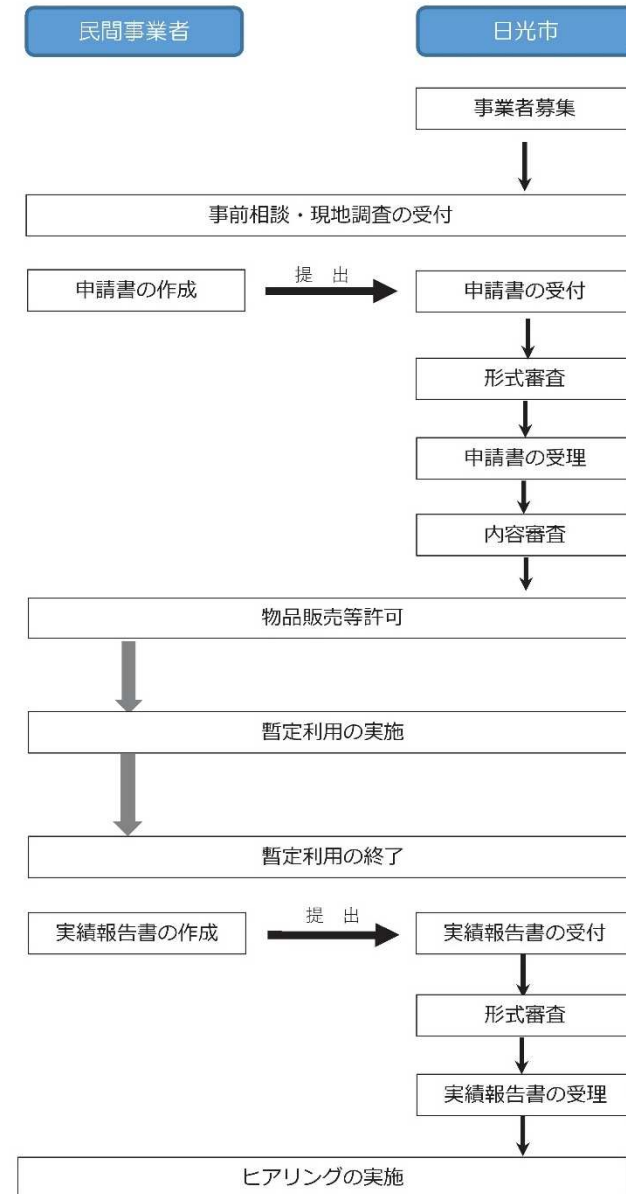
◆トライアル・サウンディング

一定期間暫定的に事業を試行することで、施設が有する利用可能性を調査する制度

公共施設等の暫定利用＋市場調査

【大まかな流れ】

- ①市の方で対象施設や条件の公表
- ↓
- ②事前相談・現地調査
- ↓
- ③事業者からの利用申請及び審査
- ↓
- ④使用許可
- ↓
- ⑤暫定利用



民間活力の活用

◆トライアルサウンディング

市のメリット

- ・市場性の確認(市場調査)
- ・イベントの誘発
- ・公共施設の魅力向上 など

事業者のメリット

- ・アイデアのニーズ調査
- ・コンセプトのマッチング確認
- ・リスクの低減 など

キッチンカーによる テイクアウト販売

- ・庁舎敷地の有効活用
- ・市役所利用者の利便性向上
- ・コロナ禍の新しい生活様式の推進

⇒4～9月で44日利用(3事業者)

民間活力の活用

◆指定管理者制度～やしおの湯～



🍴 食堂のリニューアル
令和3年度から指定管理者となった
(株)塚原緑地研究所が自費で改修

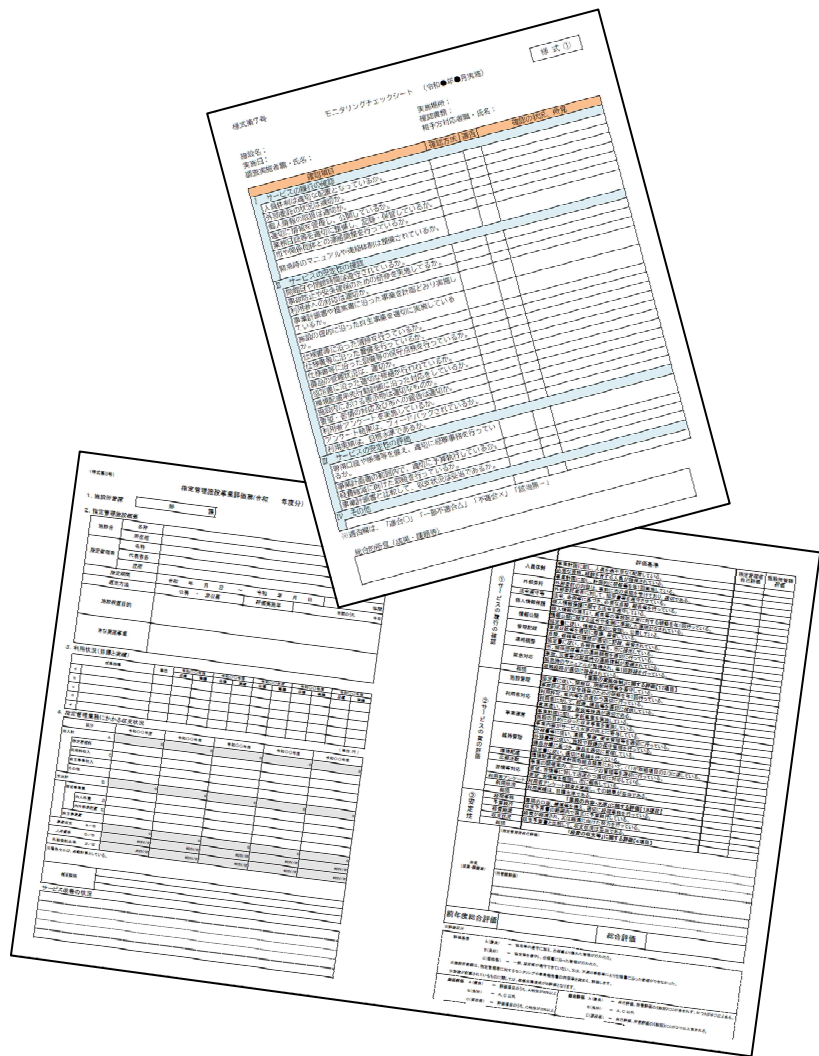
◆食堂事業の収入	※2月時点
R1年度 43千円→R4年度	9,063千円
◆施設全体の利用者数	
R1年度 164,378人	
R2年度 84,734人	
R3年度 84,614人	
R4年度 120,196人	※2月時点

↓ 回復傾向

【効果】①施設サービスの向上 ②利用者数の増大
 ③市改修費の削減 ④施設の経営改善

民間活力の活用

◆指定管理者制度～モニタリング～



📝 日常的なモニタリングの実施

モニタリングチェックシートを用いて、月1回程度打ち合わせをすることを義務化

- ・指定管理者との良好な関係性の確立
- ・施設運営の継続的な改善
- ・施設の不具合の確認

令和5年度から

📝 外部機関への状況報告

施設の事業評価結果を外部機関へ報告することを義務化

施設の適切な管理の推進

その他 ～施設利活用の変更～

◆交流促進センター



新型コロナウイルス感染症
による宿泊業への民業圧迫

令和3年度から休止

◆教育支援センター(若杉学級)

【既存施設の役割】

- ・学習支援
- ・児童生徒や保護者の教育相談
- ・学校復帰への支援
- ・不登校の未然防止

【課題】

- ・施設が狭い
- ・活動や相談支援に支障
- ・職員配置が十分にできない

交流促進センターを
教育支援センターとして利用

- ・相談支援に必要な個室
- ・学習支援のための学習室
- ・職員配置のためのスペース
が確保可能

今後の展開

公共施設マネジメント計画(R4. 3改訂)

現在までの施設保有状況の変化
公共施設をとりまく現状と課題

令和5年度

公共施設マネジメント計画実行計画(第2期) 策定
※令和6年度から運用開始

日光市公共施設マネジメント計画
改訂版



策定 平成27年8月

改訂 令和 4年3月

- ①利用実態・今後の更新費用等を見極めた個別施設の方向性の検討
- ②継続する施設の適切な施設管理手法の検討・確立
- ③民間活力導入による施設利用促進・運営の効率化の推進

総量縮減・コスト削減を図る + 長く利用する施設は利用者の満足度向上を図る

★ 市民が満足して笑顔で暮らせる**未来のまちづくりに繋げる!**